

4

富山県滑川市

滑川市立西部小学校

- クラス数／20 クラス
- 児童数／529 名
- 建築主／滑川市
- 所在地／滑川市上島 471
- 敷地面積／25,000㎡
- 建築面積／7,169㎡
- 延床面積／8,217㎡（体育館 1,395㎡）
- 構造・規模／鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造／地上 3 階建
- 施工期間／2004 年 6 月～2005 年 8 月（増築）
2006 年 6 月～2007 年 6 月（第一期）
2008 年 5 月～2008 年 12 月（第二期）

※クラス・児童の数値は平成 22 年 3 月末現在

木のぬくもりのある学習環境が自立心と協調性を養い学習効果を高める。

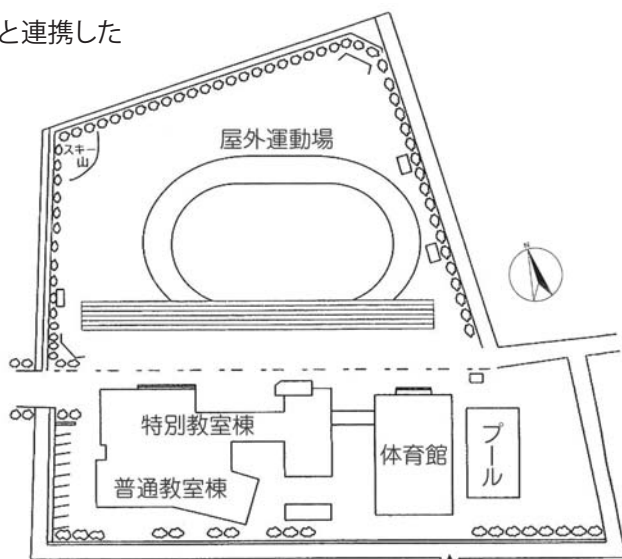
普通教室棟を増築し、既存校舎の耐震補強・改修とあわせて、発達段階に応じクローズからオープンへ変化する学び舎に情報環境を設け、自学自習と学び合い、地域との交流など、多様な活動が児童を育てる。



屋外運動場から見た外観（耐震補強・改修された既存校舎と増築棟）

計画に見られる 指針改訂のポイント

1. 多様な学習内容、
学習形態による活動が
可能となる環境の提供
2. 情報環境の充実
3. 家庭・地域と連携した
施設の充実

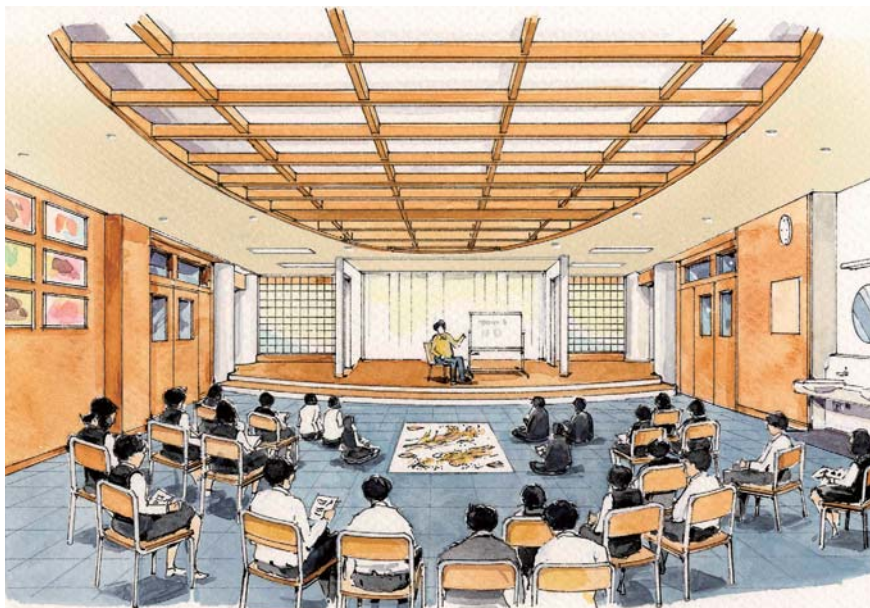


■配置図



■2 階平面図

多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供 └ 多様な学習活動に対応する開放的で多目的な学習空間



1 ワークテラスにはステージがあり、外部の講師を招いた授業やボランティアの読み聞かせの場としても利用される



2 オープンスペースは可動家具や可動間仕切りで空間を区切ることで多目的に利用(高学年)



3 デン状のロッカー空間で教室とオープンスペースを区切る(低学年)



4 木のあたたかみを活かした開放的なオープンスペース

校長の視点から

学び合いを重視した 可変空間の利用

開放的な空間を利用した交流の場には、学年を超えて学び合える環境が整えられています。オープンスペースでは、学年集会を行うことができ、教室を含めた広い空間には廊下との間仕切り壁がないので、子ども同士の交流が盛んに行われています。開放的な空間と家具による仕切りで構成されたデンとの使い分けなど、討論や発表会など利用目的に合せた多様な空間構

成が可能となっています。

ステージのあるワークテラスが各階に設置され、児童の自発的な発言や発表の場として使われています。イキイキとした躍動する子どもの姿が見られます。学年やクラスにとらわれない意見交換が行われ、互いを理解する場となっています。また、オープンスペースに展開された図書室は読書環境を身近なものにし、学習意欲を向上させます。

(図1、写真2、3、6、図4)

教職員の視点から

教室の広がりを利用した チームティーチング

教室と前面のオープンな廊下は、全体で広がりのある空間となり、少人数のグループでの学習が可能です。多様な学習課題やグループミーティングなど幅広い利用が行え、児童一人ひとりの発言回数も増えています。壁がないので、間仕切りに掲示した作品が廊下を歩く児童からもよく見え、他の学年やクラスとの交流にも役立っています。(写真3)

情報環境の充実 パソコンルームと図書室が連携する配置



5 改修校舎の補強、改修によって設けられたオープンで余裕のある情報学習室



6 2、3階のオープンスペースからもアプローチできる図書室



7 パソコンホールに隣接する自由な雰囲気のある図書室

個別学習、グループ学習に対応できるパソコンルーム

疑問や難問を解くためには、じっくりと取りかかする必要があります。そのために、オープンな情報学習室（パソコンルーム）が、リラックスできる環境として整備され、いつでも利用できるように台数を増やしています。先生や友だちと一緒にパソコンを操作できる配置としています。（写真 5）

児童の知的好奇心を高める施設の連携

図書室で本を読んでいたら、わからないことがでてきて、もっと知りたいと思うことがあります。逆にパソコンを使って調べていて、図書室で書籍を調べたいと思うことがあります。隣接した図書室とパソコンホールは、児童の知的好奇心を満たす環境となっています。（写真 6、7）

こころのケアに対応する施設

1階には、保健室から直接入れるカウンセリング室「ハートルーム」があり、児童の心配ごとや悩みなどを個別に相談できます。また、地域の人に会議室を開放してカウンセリング活動を行っています。トイレはだれでも利用できるよう多目的トイレを用意しています。（写真 9～11）

家庭・地域と連携した施設の充実 └ 地域に開放された施設とカウンセリング空間の充実



8 改修された2階ランチルームでは家族とランチを食べることも可能



9 地域の人も利用できる会議室



10 会議室の近傍にある地域の方も使える多目的トイレ



11 保健室からも直接入れるハートルーム(カウンセリングルーム)

〈設計者の視点から〉

- ◎図書室をオープンな空間に設定することで、低学年から高学年まで興味に応じた読書や調べ学習などを自由に行いやすい環境として整えました。(写真7)
- ◎ワークテラスで開催される地域の方との交流や、会議室での教育相談の開催などの機会に、多くの一般の方が来校されることを考慮し、教育相談の会場となる会議室の近傍に多目的トイレを設置しています。(図1、写真9、10)

(設計／富山県設計監理協同組合)

検討委員会委員の視点から

多様な学習活動に対応した環境の整備の観点から

学習成果の発表や地域のボランティアによる授業などに使用できるステージ状の空間や、個別学習、グループ学習などに対応できる可動間仕切りを備えたオープンスペースの整備など多様な活動が行える施設環境が確保されている。

家庭・地域と連携した施設の充実の観点から

アットホームな雰囲気のカounselingルームを整備するなど、児童の心のケアに配慮した施設となっている。また、地域からの相談などにも対応できる空間も用意されており、カウンセリング機能が充実した施設といえる。